

一般質問通告一覧表

日付	発言者順序 【質問方式】	発言の要旨
平成 27年 3月 5日 (木)	1 吉波 伸治 【一問一答】	1 「北大和グラウンド及び周辺区域の都市計画変更」について 2 「家庭ごみの収集方式」について
	2 成田 智樹 【一問一答】	1 くらしの安全・安心のための施策について
	3 下村 晴意 【一問一答】	1 いじめ防止の取組について
	4 樋口 清士 【一問一答】	1 生駒山麓公園の管理運営について
6 日 (金)	5 中浦 新悟 【一問一答】	1 北大和グラウンド及び野球場を閉鎖することについて
	6 塩見 牧子 【一問一答】	1 発達障害を持つ生徒の進路指導について
	7 浜田 佳資 【一問一答】	1 家庭ごみ有料化についての説明会等の評価及び実施目前の現状とその対策について
	8 恵比須幹夫 【一問一答】	1 大規模震災発災時における行政対応について 2 環境保全、リサイクル対策について

平成27年2月25日

生駒市議会議長

中谷尚敬様

生駒市議会議員

吉波伸治 印

発言通告書

次のとおり通告します。

平成27年2月25日
午後5時15分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑・ <u>一般質問</u> (一括質問方式・ <u>一問一答方式</u>)・緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	「北大和グラウンド及び周辺区域の都市計画変更」について
2	「家庭ごみの収集方式」について
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	「北大和グラウンド及び周辺区域の都市計画変更」について
質疑・質問の要旨	
「北大和グラウンド及び周辺区域の都市計画変更」は「北大和グラウンド低炭素まちづくり事業計画」に伴うものですが、今年1月25日に北コミュニティセンターにて、その説明会が開催されました。参加した住民からは、多くの質疑・批判が市に対してなされ、「北大和グラウンド及び周辺区域の都市計画変更」及び「北大和グラウンド低炭素まちづくり事業計画」については、まだまだ住民の理解・同意が得られていないことが示されました。	
そこで、この都市計画変更が住民の理解を得られるものとなることを期して、以下質問いたします。	
記	
(1) 4月に市長が交代します。今年1月25日の説明会で公表された都市計画変更案は、新市長の施策方針次第では見直される場合もあり得るのでしょうか。	
(2) 都市計画変更案の中でも特に焦点となっている次の2点について質します。	
① 案では、北大和グラウンド跡地は「第1種低層住居専用地域」、その南側区域（北大和体育館と真弓塚の周辺）は「第1種中高層住居専用地域」にするとされていますが、常識的に見て、低層住宅しか建築出来ない「第1種低層住居専用地域」の南側に、日照を妨げる中高層の建築物を建築できる「第1種中高層住居専用地域」を設定することは有り得ないことです。このままでは今後このことが問題化します。それを回避する手立ては検討されていますか。	
② 案では、低炭素まちづくりが実施される予定の北大和グラウンド跡地の建ぺい率は40、容積率は80となっていますが、隣接の住宅地のそれは40・60です。このままでは今後この矛盾も問題化する恐れも考えられますが、北大和グラウンド跡地も40・60とすることは検討はされましたか。	

番号	質疑 ・ 質問事項
2	「家庭ごみの収集方式」について
質疑・質問の要旨	
4月から家庭ごみ有料化が始まります。しかし、12月議会に、「家庭ごみ有料化の平成27年4月実施をやめ、市民参加で見直すことを求める請願書」が提出されるなど、家庭ごみ有料化に対する不満は市民の間に残っています。また、家庭ごみ有料化が話題になると必ず出てくるのがごみ出しの負担が重いという苦情です。私の所属会派で12月議会の報告ニュースを発行配布したところ、複数の市民から家庭ごみ有料化についてのご意見をいただきました。その際、一様に、高齢者や体の弱い方のごみ出しの負担が重いとの苦情が同時に寄せられました。 ごみ出しの負担が重い状態をそのままにしたまま家庭ごみ有料化を進めれば市民の不満は解消されないのではという危惧があります。また、高齢化社会に向かってごみ出しの負担軽減の声は強まることはあれ弱まることはありません。そこで、「家庭ごみの収集方式」について、以下質問いたします。	
記	
私が今年1月、環境事業課に問い合わせたところ、有料化すると、指定ごみ袋と大型ごみ処理券の見込み額が合わせて約2億円、ごみ袋の製造・配達・販売等経費の合計見込額は約8千万円で、差し引き約1億2千万円の収入が見込まれる、とのことでした。 過去の一般質問の中でもすでに指摘されているように、戸別収集に切り替えてきている自治体が多数存在し、それらの市が戸別収集を実施する場合は、利便性を高めるということと、有料化もセットにして出すというところが少なからず見受けられます。 生駒市でもごみ出しの負担軽減策をとるべきだと考えますが、家庭ごみ有料化による収入を活用して、ごみ戸別収集などごみ出しの負担軽減をはかる家庭ごみ収集方式への変更を検討されましたか。	

平成27年 2月26日

生駒市議会議長

中谷 尚敬 殿

生駒市議会議員

成田 智樹 (印)

発 言 通 告 書

次のとおり通告します。

平成27年 2月26日
午前 9時34分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑 ・ <u>一般質問</u> (一括質問方式 ・ <u>一問一答方式</u>) ・ 緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	くらしの安全・安心のための施策について
2	
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	くらしの安全・安心のための施策について
質疑・質問の要旨	
平成23年3月11日の東日本大震災発災から間もなく4年を迎えます。震災以後、防災、減災に関する意識は大きく変化し、国、県また本市において様々な対策が打ち出され実行されてきました。しかし、その後も広島市北部の土砂災害や御嶽山の噴火など自然災害は否応なく猛威をふるい、大型の台風は毎年のように上陸、接近し、各地で被害が発生しています。そして、東南海・南海トラフ地震の発生確率も高まり、自助、共助、公助それぞれにきめ細かい対応が求められています。 一方、本年6月には生駒市立病院の開院が予定され、様々な課題はありますが、高齢化が急速に進展する本市において、市民の健康維持・増進及び健康寿命延伸に大きく寄与するものと期待されています。 今後も、本市が関西一魅力的な住宅都市を目指し、より一層「いつでも安全、いつまでも安心して暮らせるまち」実現のための施策に力を注がれることを期待し、以下のとおり質問いたします。 1 災害対策について ① 生駒市本庁舎の耐震化に係る進捗状況は。 ② 生駒北スポーツセンター体育館は、耐震診断により新耐震基準をクリアしているとのことだが、診断の詳細及び今後の維持管理計画は。 ③ 「生駒市地震防災対策アクションプログラム」の見直しは行われているか。 ④ 避難場所増設の取組（県立高2校、奈良先端科学技術大学院大学及び民間事業所との協力）は進んでいるのか。 ⑤ 女性の視点を生かすために具体的な取組は行われたか。防災会議の女性メンバー比率増に努めたか。 ⑥ 災害時要援護者支援システムに係る取組は進んだか。要援護者マップの作成及び支援員だけに依存しない仕組みについて検討したか。 ⑦ 防災コンテナの増設及び備蓄品の見直し等を行ったか。 ⑧ 東日本大震災以降、本市の災害対策の充実は図れたか。市民、地域の防災意識は高まったのか。	

2 学校の安全について

- ① 通学路の安全対策についての取組状況は。「ゾーン30」導入効果の検証は行われているか。
- ② 平成25、26年度中に「非構造部材の耐震化」に係る点検は実施したか。改修、撤去作業等は実施したか。

3 介護予防事業について

- ① 介護予防事業の充実に関し、どのような取組を行っているのか。介護認定を受けずに使えるプランの周知は進んだか。利用数及び利用率は増加したか。
- ② 介護支援ボランティア制度導入についての検討は行ったか。

4 生駒市立病院開院に向けて

- ① 周辺道路の混雑緩和について具体的対応は協議されているか。
- ② 市立病院（及び東生駒駅）を中心とするコミュニティバス路線の設置について検討しているか。

(以 上)

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

平成27年 2月26日

生駒市議会議長

中谷 尚敬 殿

生駒市議会議員

下村 晴意印

発 言 通 告 書

次のとおり通告します。

平成27年 2月26日
午前10時35分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑 ・ <u>一般質問</u> (一括質問方式 ・ <u>一問一答方式</u>) ・ 緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	いじめ防止の取組について
2	
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	いじめ防止の取組について
一昨年9月、いじめ防止対策推進法の制定を受けて一般質問致しました。今回は、その後の取組と成果についてお尋ねいたします。現在各自治体で基本方針の作成や組織の設置など対策を進めているところです。 いじめ防止対策推進法では、学校に、いじめ防止基本方針の作成や組織の設定を求めており、これら法律で求められた措置を確実に行うことは最低限必要なことですが、いじめの問題をはじめとする子どもの問題行動など生徒指導上の諸問題に関しては、日頃からの地道な未然防止の取組や組織的な対応が実際になされるような体制整備が必要です。 文科省が昨年10月に発表した全国の小中高校、特別支援学校における2013年度の問題行動調査によると、いじめ認知件数が18万5860件で、前年度より1万2千件余り減少したものの、依然として多くのいじめが確認されています。 このような状況を打開するため、文科省では、いじめ防止に効果があったとされる事例を全国の学校から募集し、特に優れた事例を資料にまとめ、昨年11月に発表しました。本資料では「生徒主体の取組」「子供サミット」「特徴的なプログラム」「校内体制の整備」の4分野に分け、計31校の取組を紹介しています。以上のことを踏まえ質問致します。 1 推進法第12条において、「基本的な方針、地方いじめ防止基本方針を定めるよう努めるものとする」とありますが、本市では、策定されましたか。また、13条においては、「学校の実情に応じ、当該学校におけるいじめ防止等のための対策に関する基本的な方針を定めるものとする」とありますが、各学校において策定されていますでしょうか。 2 市教委として現在、各学校のいじめ等の実態を把握されていますか、 3 各学校において、いじめ防止の取組についてお聞かせください。また、6月のいじめ防止月間での取組についてもお聞かせください。	

4 いじめ防止対策には、啓発活動が重要だと考えますが、啓発活動における課題と取組についてお聞かせください。

4

平成27年2月26日

生駒市議会議長

中 谷 尚 敬 殿

生駒市議会議員

樋 口 清 士



発 言 通 告 書

次のとおり通告します。

平成27年 2月 26日
午後0時00分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑 ・ <u>一般質問</u> (一括質問方式 ・ <u>一問一答方式</u>) ・ 緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	生駒山麓公園の管理運営について
2	
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
/	生駒山麓公園の管理運営について
質疑・質問の要旨	
生駒山麓公園は、市民福祉の増進と生活文化の向上に寄与することを目的に整備された都市公園であり、自然とのふれあい、市民交流のための拠点の一つとなっている。 平成 26 年 7 月に指定期間が終了することから、平成 25 年 12 月に利用者サービスの向上、一層の効率的かつ効果的な運営、既存施設の新たな活用方法、障がい者の雇用の場等としての活用、経費削減等を図るため、指定管理者の募集を行った。 その際、市内及び近隣の社会福祉法人が障がい者就労支援施設の整備を大規模に展開することは困難であると判断し、公募によらず非公募とするとともに株式会社モンベル・社会福祉法人青葉仁会の共同体 1 団体から選定することとし、平成 26 年 2 月に当該団体からの提案に基づき当該団体を指定管理者候補者に決定した。その後、平成 26 年 3 月議会において当該団体を指定管理者とすることが可決され、平成 26 年 7 月 1 日から平成 36 年 6 月 30 日まで管理運営することとなった。 その選定過程が示す通り、今後の生駒山麓公園の管理運営の考え方として、施設が持つポテンシャルを生かし活用すること、障がい者の雇用・就労支援の場として活用することが特徴となっている。 他方、生駒山麓公園は都市公園法に位置づけられる公園であり、広く市民が平等に利用できることが必要となる。 民間企業が管理運営の主体となり、自社商品の販売等を含む事業展開が想定されている中で、都市公園の公共公益的利用と商業的利用とのバランスをいかに保つかが重要な課題となる。このような観点から、以下について質問する。 ● 今回の生駒山麓公園の主要事業の一つである障がい者の就労・自立支援の取り組みについて、これまでの実績と今後の取り組みの計画はどのようにになっているか。 ● 指定管理者の変更に伴い、生駒山麓公園の施設の活用方法はどのように変わったのか。また今後どのように変える計画となっているのか。 ● 施設の活用方法の変化に伴い、施設の整備・改修はどのように行っているのか。また今後どのように行う計画となっているのか。 ● 施設の管理運営、施設整備・改修に対して、生駒市はどのように関与しているのか。これまでに、どのような監督、指示を行ってきたのか。	

5

平成27年2月26日

生駒市議会議長

中谷尚敬様

生駒市議会議員 中浦新悟 (印)

発言通告書

次のとおり通告します。

平成27年2月26日
午後0時7分 受領

発言の種類 (○を付ける)		質疑・ <u>一般質問</u> (一括質問方式・ <u>問一答方式</u>)・緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)	
/	北大和グラウンド及び野球場を閉鎖することについて	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
/	北大和グラウンド及び野球場を閉鎖することについて
質疑・質問の要旨	
平成27年1月26日に開催された生駒市教育委員会定例会において生駒市体育施設条例施行規則が変更され、その後、平成27年1月29日に、平成27年3月31日をもって北大和グラウンド及び野球場を閉鎖する旨の文書が通知された。 また同日である平成27年1月29日に、北大和グラウンドの用途地域変更等において、国、県との調整が長引いていることや、奈良県の都市計画審議会開催時期が本年12月以降になる見込みであることから、同グラウンドの売却時期が遅くなる旨の文書も通知された。 ●平成26年3月の環境文教委員会において、サンヨースポーツセンターがオープンすると同時に北大和グラウンドを閉鎖するということを考えていたが、売却が決まるまで暫定的に北大和グラウンドも使用を認めるといった答弁があった。 売却が決まるまで約1年近くあるにも関わらず、今年度をもって閉鎖するのはなぜか。 ●閉鎖により、削減されるグラウンド運営に係る費用はいくらか。 ●閉鎖に向け、利用者の声はどのように聴いたのか。 ●閉鎖後、売却まで当該地はどうする予定なのか。	

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

平成27年 2月 26日

生駒市議会議長

中谷 尚敬 殿

生駒市議会議員

塩見 牧子 (印)

発言通告書

次のとおり通告します。

平成27年 2月26日
午後0時36分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑・ <u>一般質問</u> (一括質問方式・ <u>一問一答方式</u>)・緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	発達障害を持つ生徒の進路指導について
2	
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	発達障害を持つ生徒の進路指導について
質疑・質問の要旨 2月中旬、専修学校奈良高等学園が経営難を理由に閉校することになったと発表された。 当学園は、3年制の全日制専修と高校中退者など単位取得状況に応じた選択制分修の2コースを設置し、スクールカウンセラーを配置して少人数授業をし、集団生活になじみにくい生徒への対応にも力を入れていたことから、本市からも、身体や知的障害はないが、発達障害で対人関係を結びにくく不登校となっている生徒が複数名進学している実態がある。 突然の閉校で行先を失う生徒たちは、そもそも新しい環境になじみにくいゆえに当学園に進学しているのであり、たとえ新たな進学先が見つかったとしても適応できないことが危惧される。 1. このような現状がある中で、当学園の閉校発表に伴い、本市では生徒の進路にどのような影響があるか？ 2. 特に発達障害や学習障害を持った生徒に対してどのような進路指導を行ってきたのか。 3. 発達障害を持つ生徒たちの進路保障のため、本市では日々の教育課程においてどのような対応をしているのか。	

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

平成27年 2月26日

生駒市議会議長

中谷 尚敬様

生駒市議会議員

渡田 佳資印

発言通告書

次のとおり通告します。

平成27年 2月26日
午後2時30分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑・ <u>一般質問</u> (一括質問方式・ <u>一問一答方式</u>)・緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	家庭ごみ有料化についての説明会等の評価及び実施目前の現状とその対策について
2	
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑・質問事項
1	家庭ごみ有料化についての説明会等の評価及び実施目前の現状とその対策について
質疑・質問の要旨	
来年4月から家庭ごみ有料化の実施に向け、担当課における自治会等での説明会を1年近く行い、さまざまな質問や意見などが出されています。また、それ以外の場面でもいろいろと聞いています。 根本的な点については、これまで述べてきた通り反対ではありますが、それらの問題は新しい市長、議会にて検討されるものとして、今回は、この間行った周知の取り組みの評価及び実施目前の現状とその対策について次の質問を行います。 1. 説明会等での質問や意見などはどのようなものが出されているか。 2. 市民に十分な理解をしていただくための、意見を引き出す努力は十分だったか。 3. 意見等を受けて修正した内容はあるか。現時点でさらに考えていることはあるか。 4. 特に現時点で課題となっていることは何か。特に、大型ごみについて現状はどうか。 5. その課題についての対策として、今後の取り組みはどのように行うか。 6. 4月の実施以降の周知等の取り組みはどうか。	

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

平成 27 年 2 月 26 日

生駒市議会議長

中谷 尚敬 殿

生駒市議会議員

恵比須 幹夫



発 言 通 告 書

次のとおり通告します。

平成 27 年 2 月 26 日
午後 2 時 43 分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑 ・ <u>一般質問</u> (一括質問方式 ・ <u>一問一答方式</u>) ・ 緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	大規模震災発災時における行政対応について
2	環境保全、リサイクル対策について
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	大規模震災発災時における行政対応について
質疑・質問の要旨	
1 災害廃棄物の処理体制について 平成 24 年 3 月議会、平成 26 年 3 月議会の一般質問で、災害廃棄物の処理体制の構築について提案させていただきました。 現在進められている、地域防災計画の見直し作業の中で、災害廃棄物処理はどのように検討されているのか、お聞かせ下さい。 2 ICT 部門の業務継続計画（ICT-BCP） 平成 26 年 3 月議会の一般質問で、ICT(information and communication technology)に関する BCP (Business continuity planning) の策定について提案させていただきました。 現時点における ICT-BCP の策定作業の進捗および今後の運用へ向けた工程についてお聞かせ下さい。	

番 号	質疑 ・ 質問事項
2	環境保全、リサイクル対策について
質疑・質問の要旨	
1 解体工事現場における環境保全対策について 平成 23 年 12 月議会、平成 25 年 3 月議会の一般質問で、解体工事と環境保全に関する指導強化を提案させていただきました。平成 26 年度の解体工事の届出状況および指導・対応状況についてお聞かせ下さい。 2 使用済小型家電の回収事業について ①平成 25 年 3 月議会の一般質問で提案させて頂いた小型家電のリサイクルについて、平成 26 年 10 月から回収事業がスタートしましたが、今年度の回収状況について、どのように分析・評価されているのかお聞かせ下さい。 ②使用済小型家電の回収事業に関する広報・周知の状況についてお聞かせ下さい。 ③利便性を考慮すれば回収拠点をさらなる増設が必要かと考えます。現時点で回収拠点の増設について、何らかの検討をされているのか、お聞かせ下さい。 3 古紙リサイクルについて ① 燃えるごみの収集と同時に実施されている、古紙（新聞、雑紙、ミックスペーパー等）回収の平成 26 年度の状況について、どのように分析・評価されているのか、お聞かせ下さい。 ② 古紙の分別に関する周知徹底の取り組み状況についてお聞かせ下さい。	